

大阪市長 西九条小学校

一年 開道 美琴

だいじないのちをまもるために

わたしは、こうつうあんぜんチャレンジの目ひようを「おうだんほどうは、手を上げて左右を見てからわたる。」にきめました。

なぜなら、じこのおおくが、おうだんほどうなどのこうさてんでおきると、おとうさんとおかあさんにきいたからです。じこがはっせいすると、けがをしたり、しんでしまったりすることもあるとおかあさんからききました。いとこのおとうさんは、びようきでなくなってしまうので、いとこは、おとうさんにあうことができなくて、とてもさみしそうです。

じこがおきると、おなじようになくなってしまうこともあることから、じこにあわないように、きちんとこうつうルールをまもるひつようがあるとおかあさんにおしえてもらいました。おとうさんからは、わたしのひいおじいちゃん、こうつうじこでなくなったとききました。ひいおじ

いちゃんが、おうだんほどうをじてん車でおうだんちゆうに、右せつしてきたじどう車にはねられて、そくしたとききました。おとうさんからは、ひいおじいちゃんがなくなつて、ともてかなしかつたとききました。

そのはなしをきいて、わたしは、チャレンジする目ひようをたっせいしようとおもいました。また、それだけではなくて、ふゆ休みがおわつたあともつづけていこうとおもっています。また、おとうさんは、こうつうじこは、どちらかがいっぼうてきにわるいことではないとおしえてくれました。このため、わたしがこうつうルールをまもっていれば、じこにあうこともなく、けがをすることもなく、しんでしまつたりすることもないとおもいました。わたしは、こんかい、おとうさんやおかあさんとおはなししたことで、こうつうルールをまもつていくことがたいせつなのだ、と、べんきようしました。

べんきようをいかして、まずは、おうだんほどうやこうさてんをわたるときには、左右をかくにんしてじどう車やじてん車がきていないことを見てから、手を上げてわたるようにしようとおもっています。